

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び	研究課題名	甲状腺未分化癌をはじめとした内分泌腫瘍における遺伝子パネルを用いた変異プロファイリングと、RNAseqによる遺伝子発現解析
利用方法	研究目的	<p>甲状腺未分化癌は、生存期間の中央値が6か月程度と非常に予後不良な疾患です。また甲状腺癌の1%程度の稀な疾患とされ、研究試料に乏しいため、未だ全ゲノム解析の報告もなく、その生物学的特性も不明な点が多いままです。</p> <p>そこで本研究では、当センターで外科切除された甲状腺未分化癌をはじめとした内分泌腫瘍の組織の遺伝子解析を行い、甲状腺未分化癌の発生メカニズムの解明と今後の新規治療法の開発に役立つ知見をもたらすことを目的としています。</p>
	研究対象者	当センター乳腺内分泌外科で1977年1月1日～2027年3月31日に外科切除された内分泌腫瘍の患者のうち、当センターの医学研究に関する包括的同意が得られている方
	研究期間	西暦 2019年7月3日～西暦 2027年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> 生体試料センター試料 <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	内分泌外科 益戸功彦
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターで の実施診療科/ 部局等	内分泌外科、乳腺外科、病理診断科、臨床研究所
	共同研究の場 合、共同研究機 関および各施 設での研究責 任者	なし